

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第5回 教育振興基本計画審議会
開 催 日 時	平成30年7月12日(木) 午前10時から正午
開 催 場 所	所沢市役所7階研修室
出 席 者 の 氏 名	佐藤 英樹、大越 沙弥華、長尾 由紀子、新藤 康夫、柏崎 年己、 赤堀 侃司(会長)、高橋 敏(副会長)、天野 正博、長谷川 陽子、 宮井 俊充、牧野 和江、安田 政洋
欠 席 者 の 氏 名	関 直規
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	<p>1 開会 2 挨拶 3 議事 (1)「第4章 施策の展開」について (2)「第5章 計画の推進」について (3)その他 4 閉会</p>
会 議 資 料	<p>第5回所沢市教育振興基本計画審議会 次第 第5回所沢市教育振興基本計画審議会 座席表 第1次計画の「課題」と第2次計画の「施策」の対応が分かる表 第4回審議会からの変更点(当日配布資料①) 第2次所沢市教育振興基本計画の構成(当日配布資料②) 今後のスケジュール(当日配布資料③)</p> <p>議事資料 第2次所沢市教育振興基本計画素案(第5章まで)</p>
担 当 部 課 名	<p>教育長 内藤 隆行 教育総務部長 美甘 寿規 学校教育部長 岩間 健一 教育総務部次長 師岡 林 学校教育部次長 戸村 達男 文化財保護担当参事 木村 立彦 保健給食担当参事 池田 隆人 教育施設課長 森田 幸夫 社会教育課長 稲田 里織 スポーツ振興課長 海老沢 康子 所沢図書館長 中村 まさみ 生涯学習推進センター所長 倉富 恵理子 教育センター所長 米澤 三八子 教育総務課 教育総務担当参事 千葉 裕之 主幹 安田 幸雄 主任 葛貫 和也、柳瀬 美紀 教育総務部 教育総務課 電話 04-2998-9232</p>

様式第2号

発 言 者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
事務局	開会
内藤教育長	挨拶
事務局	出席者の人数が全委員の過半数に達しているため、当審議会の規定により、会議の成立を報告。傍聴者なし。
赤堀会長	議事(1)「第4章 施策の展開」について、事務局から説明いただきたい。
事務局	(1)「第4章 施策の展開」について 第2次所沢市教育振興基本計画素案(第5章まで)に基づき説明
赤堀会長	第3章までについて、前回のご意見を踏まえて何点か修正を行ったとのことであった。 第4章については、基本方針、基本目標、主要施策に基づいて説明をいただいた。自由にご意見いただきたい。
委員	15ページ「計画の構成」について、基本方針・基本目標・主要施策の三角形はわかるが、基本理念が三角形の上にあることに違和感がある。基本理念は、長い期間をかけて所沢市に住んでいる方々になってほしい姿のように思う。基本理念と基本方針はつながっていないのではないか。基本理念は、三角形の外にある、あるいは三角形を囲む円のようなイメージを持っていた。
赤堀会長	基本理念と、基本方針・基本目標・主要施策の関係性についてのご意見であった。
委員	全体のイメージができるものが良かった方が良かったと思うが、15ページ「計画の構成」の図は思っていたものと違っていた。 基本理念・基本方針・基本目標の関係性を検討した方が良かったのではないか。
委員	基本理念はいつから掲げているか。
安田教育総務課	基本理念としては、第1次計画から掲げている。第1次計画以前

主幹	から、教育委員会で使用している。
委員	<p>理念というのは、あらゆる団体において、団体が存在する意義であり、行動の根本となるものと思う。</p> <p>計画の構成のように、理念が1番上にある場合も、1番下にある場合もあるが、どちらにせよ、変わることのない重要なものであると思う。</p> <p>基本理念は、今後も継承していくものなのか。</p>
赤堀会長	<p>先日参加した会議においても、団体の理念はずっと生きており、方針は変化していた。</p> <p>教育振興基本計画においても、基本理念は守っていくべきものであり、基本方針・基本目標・主要施策は社会の変化に応じて変わっていくものという考えで良いか。</p>
千葉教育総務担当 参事	<p>その通りである。基本理念については、第1次計画が策定された平成23年以前から、教育目標として掲げてきたものである。第2次計画においても、所沢市の教育の基本理念として、第1次計画の基本理念を引継いでいきたいと提案させていただいた。基本方針・基本目標・主要施策については、社会情勢の変化や審議会でのご意見を踏まえ、時代に即したものを提示させていただいた。</p> <p>基本方針については、社会の変化に伴って第1次計画においては2つであった基本方針を3つとした。</p> <p>「計画の構成」の模式図については、案として提示したものである。</p>
赤堀会長	<p>基本理念については揺るぎないものであり、基本方針・基本目標・主要施策については、社会の変化に対応させていくということであった。基本方針については、第1次計画で2つであったが、3つの方針としたということであった。この2点については、市民の方にわかりやすいと良いと感じた。</p>
高橋副会長	<p>基本理念については、所沢市の各学校、教育行政において浸透しており、今後も重要な位置を占めるものと思う。</p> <p>基本理念は、基本方針・基本目標・主要施策のベースになるものと思う。</p> <p>「計画の構成」の図においては、基本理念は、基本方針・基本目標・主要施策すべてが乗るお盆あるいはお皿のようなイメージである。</p>
赤堀会長	土台となるイメージか。

高橋副会長	すべてを包括するように、丸く包む方法もある。
委員	<p>所沢市の教育の基本理念はずっとあるもので、大切にしたいと思っている。</p> <p>「1 計画の構成」「2 基本理念」という順番だが、基本理念は第1次計画からあるもので、次期計画にもつながるものなので、計画全体の1ページ目にあると良い。</p> <p>国や県の計画と比べて、理念は何があっても変わらない大切なものというイメージが薄いので、第2次計画でも表わせると良い。</p>
委員	<p>理念に基づいて計画を策定しているものと思うので、最初に計画の構成で示すのではなく、基本理念を最初に理解してもらい、その上で基本方針・基本目標・主要施策を示すのが良いのではないか。</p>
委員	<p>基本理念は、学校でも定着しており、市民の方々にとっても揺るぎない変わらない理念であると思う。三角形の一番上というよりは、土台となるイメージである。</p>
委員	<p>「第3章 本市の教育の目指す姿」の最初に図があるが、図は施策体系図の前が良いのではないか。基本理念は揺るぎないものとして、第3章の最初が良いのではないか。</p>
委員	<p>基本理念は、計画の最初のページに色を変えるなり目立つ形であった方が良い。</p>
赤堀会長	<p>基本理念に基づいた計画であると示すために、基本理念は計画の最初に掲載するのが良いということであった。事務局で検討いただければと思う。</p> <p>第4章について、ご意見いただきたい。</p>
委員	<p>22ページ基本目標1の下の文章『子どもたちは、誰もができるようにになりたいと願っている』の「できる」とは何を指しているのか。</p>
戸村学校教育部次長	<p>『子どもたちは、誰もができるようにになりたいと願っている』については、勉強、運動、友人関係などすべてを含めて、子どもたちは成長したいと願っているという子ども観を示したものである。所沢市で進めている「学び創造アクティブプラン」でも、そうした子ども観に立って取り組んでいるものである。</p>
委員	<p>18、19ページ「施策体系図」の主要施策の順番については、</p>

<p>安田教育総務課 主幹</p>	<p>意図的なものか。</p> <p>同じような内容がいくつかの主要施策に出てくるが、読み手にとって分かりやすいように整理した方がよいか、それとも、大事な部分なので複数の箇所に出てきてよいのか。</p>
<p>安田教育総務課 主幹</p>	<p>主要施策の順番について、優劣はないため、入れ替えについてはご意見をいただきたい。</p> <p>複数の目標に跨った施策や事業がある関係で、いくつかの主要施策に同じような内容が記載されていることがある。基本計画の単年度事業計画である「教育行政推進施策」でも、1つの事業が、いくつかの主要施策の下に記載されていることがある。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>第1次計画の課題を踏まえた計画であることや、社会の変化に対応して基本方針3を新しく設けたことについて、説明がどこかにあると良いのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>23ページ「(5) 特別支援教育の推進」の1つ目「障害のある子と障害のない子が共に学ぶことを…」について、教育分野では「障害」の表記で統一されているものなのか。</p> <p>25ページ「(2) 環境教育の推進」の3つ目、「地球温暖化などの環境課題に配慮し、自然との調和を大切にしながら主体的に行動できるよう、過度に便利さに依存しない取組を進めます。」について、「持続可能な社会づくりに向けて」を「主体的に行動できるよう」の前に入れた方がよい。</p>
<p>岩間学校教育部長</p>	<p>漢字、平仮名など言葉遣いについては大切にしていきたいと思う。「障害」については、「障がい」「障碍」の表記もあるが、文部科学省で「障害」の表記を用いていることから、国に準じた表記としている。</p> <p>文字1つについても様々な考えがあるため、計画を策定するにあたっては大事にしていきたい。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>22～24ページ、基本方針1の基本目標1についてご意見いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>すべてのページに関わるが、所沢市独自の良い取組について、記載があった方がよい。安全・安心な学校と地域づくり推進本部会議、児童生徒体力向上推進委員会など、所沢市独自の良い取組がたくさんあるので、学びノートのように記載した方がよい。</p>
<p>千葉教育総務担当 参事</p>	<p>本日は過不足がないかどうかも含めて確認いただきたいと思っており、ご意見を踏まえて見直していきたい。</p>

委員	<p>23ページ「(2) 伝統・文化の尊重とグローバル化に対応した教育の推進」の1つ目「世界の平和と発展に貢献する日本人を育成するために、日本及び諸外国の伝統や文化等についての理解を深めます。」について、文化を学ぶのは多様性を理解するためであるので「伝統や文化」の後に「違い」を入れた方がよい。</p>
赤堀会長	<p>違いや多様性の概念が含まれる記述にしていただければと思う。</p> <p>25～26ページ、基本目標2についてご意見いただきたい。</p>
委員	<p>25ページ「(2) 環境教育の推進」の3つ目、「地球温暖化などの環境課題に配慮し、自然との調和を大切にしながら主体的に行動できるよう、過度に便利さに依存しない取組を進めます。」について、「過度に便利さに依存しない」はなくても良いのではないか。</p>
千葉教育総務担当 参事	<p>「過度に便利さに依存しない」の表現については、現在の社会を見つめたときに、便利さに依存している実態があるのではとの思いから記載したものであり、所沢市として力を入れていきたい部分である。当たり前で過ぎていて途中で気づかずに便利さに依存しているのではないか、もう一度見つめ直す必要があるのではないか、との想いを込めて表現したものである。</p>
内藤教育長	<p>「過度に」という表現に想いがある。1人1人が出来る範囲で行動することが大切であると思う。</p>
赤堀会長	<p>最近では校内暴力という言葉は使用しないのか。ほとんど起きていないということか。</p>
岩間学校教育部長	<p>言葉がなくなったかどうかは定かでないが、所沢市ではほとんど起きていない。</p>
委員	<p>いじめ防止対策推進法に基づいて、各校宣言をしているので、どこかに記載があると良いのではないか。</p> <p>25ページ「(2) 環境教育の推進」かどこかに、ほぼ全校で牛乳パックのリサイクルの取組を行っているので、記載があると良いのではないか。</p>
赤堀会長	<p>所沢市独自で行っている取組の記載について、事務局で検討いただければと思う。</p>
委員	<p>25ページ「(3) 体験活動の推進」について、「地域の人」「地</p>

<p>安田教育総務課 主幹</p>	<p>域など」の記載があるが、青少年活動に携わっている団体も含まれるのか。記載があるとありがたい。</p> <p>「地域」には、地域で活動されている団体も含まれている。36ページ「(3) 青少年教育の推進」の1つ目には、「…このような体験活動を行う社会教育関係団体を支援し、子どもが多方面から成長できる環境づくりを進めます。」とあり、「社会教育関係団体」と表現させていただいている。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>27～28ページ、基本目標3についてご意見いただきたい。 ご意見がないようであれば、29～30ページ、基本方針2の基本目標1について、続いて31～32ページ、基本目標2についてご意見いただきたい。 「(2) 競技会場の確保や交流機会の充実」の2つ目、ゴールボールという競技があるのか。</p>
<p>海老沢スポーツ 振興課長</p>	<p>ゴールボールについては、視力に障害がある方を対象に考案された障害者スポーツの1つであり、パラリンピックの競技種目にゴールボールという競技がある。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>32～33ページ、基本目標3についてご意見いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>32ページ「(1) 図書館サービスの向上」の3つ目、「他市の図書館との相互利用等」について、他市の図書館の本を借りることができるということか。</p>
<p>中村所沢図書館長</p>	<p>他市の図書館との相互利用の一環として、図書館では相互貸借を行っており、全国の図書館とネットワークを持っている。所沢市内の図書館に所蔵されていない資料については、様々な機関から取り寄せるなどして、提供することができる。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>34～35ページ、基本目標4についてご意見いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>34ページ「(3) 地域の文化財の掘り起こし」について、所管課はどこか。 35ページ「(5) 郷土に関する資料の収集・保存・活用」について、博物館について記載がないことは大変残念に思う。 2つ目「…後世に伝えるための保存施設について、既存施設を見直し、施設の整備に向けた検討を行います。」について、「既存施設を見直し」の後、「施設」の前に、「収蔵・展示できる」という文言を追記できないか。</p>

<p>木村文化財保護 担当参事</p>	<p>34ページ「(3) 地域の文化財の掘り起こし」については、文化財保護課所管である。</p> <p>文化財保護法で定められている範囲の歴史文化的遺産が、まだ市内に埋もれている可能性があることから、掘り起こしていくという意味で記載をしている。</p> <p>35ページ「(5) 郷土に関する資料の収集・保存・活用」については、博物館の理解がはかられていないこともあり、名より実をとったものです。また、本計画は5年の計画であるため、実際にできる目標を掲げた方が市民にわかりやすいのではないかと考え、博物館という表記は入れていない。</p> <p>「収集・展示できる」という文言については、入れられると考えている。</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>36～37ページ、基本方針3の基本目標1についてご意見いただきたい。続いて、38～39ページ、基本目標2についてご意見いただきたい。</p>
<p>高橋副会長</p>	<p>39ページ「(4) 学校・家庭・地域の連携推進」1つ目に「学校評議員制度」の記載がある。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について、県内でも取り組んでいる自治体が多くなっているが、所沢市の方針を伺いたい。</p>
<p>岩間学校教育部長</p>	<p>全国的にコミュニティ・スクールの導入が進んでおり、埼玉県でも推進していることは承知している。コミュニティ・スクールの意義についても把握している。そういった中で、所沢市では、学校評議員制度をはじめ、学校応援団などの地域のボランティアの方による学校への支援や、中学生の職場体験を通じた地域との交流などを行うことで、様々な形でコミュニティ・スクールのような活動は展開されていると認識している。コミュニティ・スクールという形の導入は現在のところ考えていないが、ほとんどの学校で実践が進んでおり、それぞれの取組を充実させていく方向で考えている。</p>
<p>内藤教育長</p>	<p>コミュニティ・スクールの目指す内容については、本市でも同様の考えに立っている。コミュニティ・スクールをどう実現していくかの手法については、この素案に記載してあるとおりだが、例えば福井県では、法律が定める規定によらず別の方式を進めているため、統計上はコミュニティ・スクールがないが、実際には取組が進んでいる。コミュニティ・スクールは、学校の経営方針等に対し、地域の承認が必要となり、地域の責任性が増すと言われている。所沢市では、地域の方々のご意見を聞きながら、学校応援団、見守り隊など今ある仕組みの中で、取組を進めていく。国の方でも制度を</p>

	<p>見直すような動きがあること、教育振興基本計画は5年間の計画であることから、この素案には記載していないところである。</p> <p>39ページ「(4) 学校・家庭・地域の連携推進」の2つ目について、「…幼児教育振興協議会の協力を得て…」とあるが、「幼児教育振興協議会」は教育委員会の管轄のため、記載は必要ないのではないか。23ページ「(6) 幼児教育の推進」の2つ目にも「幼児教育振興協議会を通じて…」とあるので、同様に記載は必要ないのではないか。</p> <p>また、「『小一(いち)スタートカリキュラム(アプローチカリキュラム含む)』を活用し、幼児期の教育の充実と家庭の教育力の向上を図り…」とあるが、家庭の教育力の向上を図るものではなく、こども園や学校と一緒に取り組むものであるように思う。</p>
<p>委員</p> <p>戸村学校教育部 次長</p>	<p>小一スタートカリキュラムについては、小一ギャップの解消を目指して作成したものであるが、掲載場所も含めて検討させていただく。</p>
<p>委員</p> <p>赤堀会長</p>	<p>安全・安心な学校と地域づくり推進本部会議について、所沢市独自の良い取組なので、記載を増やしても良いのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>40～41ページ、基本目標3についてご意見いただきたい。ないようであれば、議事(2)「第5章 計画の推進」について、事務局から説明いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2)「第5章 計画の推進」について 第2次所沢市教育振興基本計画素案(第5章まで)に基づき説明</p>
<p>赤堀会長</p>	<p>「第5章 計画の推進」についてご意見をいただきたい。現状値と目標値については、具体的な数字が今後記載されるということか。第1次計画でも指標があったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その通りである。第1次計画でも指標を設定していた。</p>
<p>委員</p>	<p>ふるさと所沢への郷土愛が意識された計画になっているが、図る指標はあるか。</p>
<p>千葉教育総務担当 参事</p>	<p>46ページ、基本目標4の指標では、「ふるさと研究活動にかかる延利用者数」「郷土資料利用件数」「文化財保護にかかる事業の参加者数」を今のところ考えている。</p>

委員	子どもを対象とした指標はあるか。
美甘教育総務部長	所沢市市民意識調査の中では、「所沢市に愛着を持っているか」「所沢市に住み続けたいと思うか」といった質問もある。そうした指標を入れられるかどうかも含めて、事務局で検討していきたい。
木村文化財保護 担当参事	子どもを対象とした指標についてだが、例えば「文化財保護にかかる事業の参加者数」の解説にある「民俗資料館の利用者数」には、学校の郷土学習で見学に訪れる子どもたちが含まれている。「ふるさと研究活動にかかる延利用者数」については、7月に開催される「星空フェスティバル」の参加者が含まれるが、学校と連携しており子どもたちが多く参加している。子どもと大人が両方含まれている現状である。
委員	43ページ、基本目標1の指標「『個別の教育支援計画』及び『個別の指導計画』を作成する学校の割合」については、国で義務付けられているため、指標として設定するものではないのではないか。
戸村学校教育部 次長	「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」については、支援を要する子どもについては作成することとされている。現在、特別支援学級、通級指導教室に通う児童生徒については、100%作成が進んでいる。今後、通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒について、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成の割合を高めていきたいと考えている。
内藤教育長	<p>「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」については、保護者と相談しながら基本的には作成している。通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒については、取組が弱い学校もあるが、指標の設定は誤解が生じるため見直したい。</p> <p>幼児教育について、保育園・認定こども園は市長部局が所管している。私立幼稚園は、法律上教育委員会が直接所管することはできない。幼児教育振興協議会は、私立幼稚園、私立・公立保育園等のご意見を聞きながら、教育委員会としても幼児教育の重要性を発信しながら、幼児教育と小学校の接続を滑らかにすることに取り組んでいる重要な機関である。学校も入っており、教育委員会が事務局をしているもので、他市と比較すると取組は進んでいる。表現の仕方や記載する場所については、協議していく。</p>
赤堀会長	1人ずつ順番にご意見いただきたい。

委員	審議会のご意見を参考にさせていただき、より良い計画になることを期待している。
委員	教育委員会で取り組んでいることを、地域の方が参加しているものなど、具体的にアピールした方が良い。
赤堀会長	計画はホームページに掲載されるか。
事務局	掲載する。
赤堀会長	広報になるようお願いしたい。
委員	所沢市独自の取組について、ぜひ記載をお願いしたい。
委員	一目見て分かりやすい計画になると良いのではと考えている。分かりやすい計画にすることで、市民の方が手に取り、学校や市の取組が浸透していくことになる。
委員	4章と5章のつながりがわかりにくい。主要施策と指標の数がバランスとれていないのではと思われるため、指標と施策との関係をわかりやすく記載していただきたい。評価（CHECK）は指標だけで行うものではないと記載いただくと良い。
赤堀会長	<p>文部科学省が「Society5.0に向けた人材育成」、経済産業省が「未来の教室」という提言書を出しており、今大変注目されている。AI技術の発達など社会が大きく変化する中で、どのような能力が必要か、これからの教育・人材育成に求められることが書かれている。</p> <p>現在の日本は真面目で従順な若者が多い印象があり、東京2020オリンピック・パラリンピック以降の日本が心配である。提言書は危機感の表れであると思う。</p> <p>これからは、身の回りのことでもチャレンジし、問題解決できる人材育成が必要である。</p> <p>所沢市においても、子どもたちが生きがいを持ち、元気にすくすく育ってくれたら嬉しく思う。</p>
高橋副会長	<p>今までの所沢市の教育を受けて、広く深く網羅したものになっているように思う。</p> <p>また、指標についてだが、平成35年度にこれまでの振り返りを行う際に、各項目を計る適切な指標となっているか、議論していきたい。</p>

委員	<p>29ページ、「まちづくり出前講座」や「ボランティア人材バンク」といった市民の方にPRできる事例については、注などで内容が記載されていると良い。</p>
委員	<p>22ページ、「学びノート」の注釈がわかりやすく良いと思ったので、他にも所沢市独自の取組があれば、注釈で説明があると良い。</p>
委員	<p>審議会に出席していることで理解できた取組もあったため、市民の方にわかりづらと思われる取組については、注釈があると良い。</p> <p>15ページについて、中央に3つの視点を置き、周りに三角形で表わしている計画の構成を丸で表現し、一番大きな丸を基本理念で表わすとわかりやすいのではないかと感じた。</p>
委員	<p>市民の方にわかりやすく、読みやすい計画になると良い。</p>
委員	<p>指標について、現状値及び目標値を設定することになると思うが、今後達成率が出たときに、達成できたところ、できなかったところについて、具体的に話す場があると良いと感じた。</p>
赤堀会長	<p>次回の審議会が最後になるが、時間が足りず発言できなかったご意見もあると思うので、メール等で事務局にご意見を伝えていただき、より充実した計画に出来ればと思う。</p>
事務局	<p>(3) その他 今後のスケジュールに基づき説明</p>
事務局	<p>閉会</p>